

鉄板の選び方 金融機関は「口座管理手数料無料」で選ぶ!

非常にお得な「口座管理手数料無料」を要チェック

金融機関によっては、運用中の口座管理手数料が無料になる場合がある。大手の金融機関では口座管理手数料が300円以上のところも多い。「口座管理手数料無料」は非常にお得であり、見逃さないポイントだ。



要注意!

口座管理手数料が無料になるのは各社「最低保有残高」のハードルあり

保有残高により口座管理手数料が無料になる金融機関

口座管理手数料無料を掲げる金融機関にも、各社「最低保有残高」のハードルが。加入後すぐは一定の手数料が必要となる。

保有残高

150万円以上

100万円以上

50万円以上

掛金
月2万円なら
6年3ヵ月
必要

第一生命

第一生命保険

MIZUHO
みずほ銀行

※他条件でも無料になるケースあり

重要

運用商品の手数料(信託報酬)の安さも確認



積もれば
大金に

できるだけ低コストの商品を選びたい

取扱商品の手数料(信託報酬)の安さも、金融機関選びでは欠かせないポイント。確定拠出年金の加入者は長期投資が前提となり、信託報酬が大きな影響を持つからだ。安いものだと0.2%程度の商品もある。

金融機関の独自サービスで手数料を安くするワザも!

金融機関によっては独自設定で安くなる

口座管理手数料については、各金融機関で独自の設定を行っていて、場合によっては非常に手数料が安くなることもある。金融機関選びの際には、この点にも注目しながらリサーチするといいだらう。

● 手数料比較に最適!



モーニングスター「金融機関比較ガイド」
<https://ideco.morningstar.co.jp/compare/compare.html>

1 条件によって手数料が割引

みずほ銀行

条件

- 1 月額掛金1万円以上
- 2 iDeCo専用Webサイトでメールアドレス登録
- 3 「SMART FOLIO(DC)」にて目標金額登録

サービス

上記3点すべての条件を満たすと手数料が無料

※保有残高または掛金累計額50万円以上でも無料

ロボが資産運用をサポート

掛金1万円以上や、保有残高または掛金累計額50万円以上など低いハードルで無料になる

2 毎月の掛金額と保有残高で優遇

SOMPOアセットマネジメント

条件 毎月の掛金が2万円以上

サービス 通常月330円の口座管理手数料が無料

● 月額口座管理手数料 ※()内は年額

資産残高	100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上
月額掛金	330円 (3960円)	143円 (1716円)	0円 (0円)
1万円未満	143円 (1716円)	0円 (0円)	0円 (0円)
1万円以上 2万円未満	0円 (0円)	0円 (0円)	0円 (0円)
2万円以上	0円 (0円)	0円 (0円)	0円 (0円)

口座管理手数料を保有残高だけでなく、毎月の掛金額に応じて定めている。2万円以上の掛金で、手数料が無料になるのは大変魅力的だ

りそな銀行

条件 掛金の引き落とし口座がりそなグループ

サービス 通常月322円の口座管理手数料が月267円

掛金の引き落とし口座を自社グループのものにするだけで、55円の手数料割引

掛金引き落とし口座がりそなグループの場合

手数料が安くなってお得!

月322円

↓

月267円

各金融機関のお得なサービスを見逃すな

加入者にとっては1円でも安くしたい口座管理手数料。金融機関によっては、これまでに拠出し、積み立てた「最低保有残高」などの条件を設けたうえで、その条件をクリアした場合は、口座管理手数料を無料にするサービスを導入している会社も。これは大変お得なので、ぜひとも活用したいところ。例えば、みずほ銀行やソニー銀行は50万円以上、第一生命は150万円以上の保有残高で口座管理手数料が無料になる。加入者にとっては非常にありがたいサービスだ。ほかにも、さまざまな条件を設け割引を実施している金融機関は多い。加入を考えている人は、よくリサーチをして後悔のないように金融機関を選択しよう。

一方で、最近はいオン銀行をはじめ、大和証券や野村證券といった大手証券会社などで「無条件で手数料無料」を開始する動きがちらほら現れはじめている。商品ラインナップが納得のいくものであれば、活用しない手はない。